

あなたは、がん検診を受けていますか？



# がんは 早期発見・早期治療 が肝心です。

定期的ながん検診を受けましょう！

日ごろから自分で体調をチェックし、  
「おかしいな？」と感じたときは  
受診しましょう

## 胃がん・食道がん

- ・食べ物を飲み込んだときにしみる感じや、つかえる感じはないか。
- ・胸の痛み、背中の痛みはないか。
- ・胃の痛み、胃の不快感がないか。

## 肺がん

- ・せきやたんが続いていないか。
- ・たんに血が混じっていないか。

## 肝がん

- ・肝炎ウイルスの感染がないか。
- ・食欲がない、身体がだるいといった症状が長く続いていることがないか。

## 子宮頸がん

- ・月経でないときに接触出血がないか。
- ・普段とは違うおりものがないか。

## 乳がん

- ・乳房の中にしこりがないか。
- ・乳房にえくぼの様なくぼみやふくらみがないか。
- ・乳頭から血液などの分泌物がないか。

## 大腸がん

- ・便に暗赤色の血液が混じっていないか。
- ・便が細くなっているか。
- ・下痢と便秘をくりかえしていないか。

## ◆◆◆◆◆ がん検診の有効性 ◆◆◆◆◆

生活習慣病の1つであるがんは年々増加し、1981年より死亡順位の第1位となっています。

厚生労働省ではがん検診（症状のない人が最初に受ける検査）の有効性に関する研究をすすめ、ガイドラインを発表しています。

### 大腸がん検診ガイドライン（平成16年度発表）

便潜血検査は死亡率減少効果を示す十分な証拠があるので、大腸がん検診として実施することを強く勧める。

#### 一次検診（スクリーニング検査）

##### 問診

既往歴や自覚症状などを  
おたずねします。

##### 便潜血検査

大腸がんは出血する傾向が強いのですが、必ずしも目に見えるとはかぎりません。便潜血検査では、このような見えない出血も発見することができます。

便潜血検査は食事を  
気にすることなく、  
少量の便を探るだけで  
調べられます！



### 胃がん検診ガイドライン（平成17年度発表）

胃X線検査は死亡率減少効果を示す相応な証拠があるので、胃がん検診として実施することを勧める。

#### 一次検診（スクリーニング検査）

##### 問診

既往歴や自覚症状などを  
おたずねします。

##### 胃X線間接撮影

バリウム（白いどろっとした液状の造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲んで検査をします。検査台にのり、体の向きをかえ色々な角度で撮影します。

バリウムも粘りが減り、  
飲みやすくなっています！



早期発見のため症状のない時こそ  
がん検診を受けましょう！  
40歳以上の方は、年一回検診を受けましょう！

食生活と

あなたの食生活は大丈夫ですか？

予防の14カ条

あなたはいくつ  
知っていますか？  
詳しくは中面を  
ご覧下さい。



## 「がん予防キャンペーン大阪2006」

主催

大阪府  
大阪市  
(社)大阪府医師会  
(財)大阪対がん協会  
(財)結核予防会大阪府支部  
(財)大阪公衆衛生協会

(社)大阪エフボランティアネットワーク  
大阪府地域婦人団体協議会  
大阪市地域女性団体協議会  
(社)大阪府公衆衛生協力会  
(財)大阪成人病予防協会  
(財)大阪がん予防検診センター

事務局

〒536-8588 大阪市城東区森之宮1-6-107 (財)大阪がん予防検診センター内  
TEL.06-6969-6711  
ホームページ: <http://www.gan-osaka.or.jp>